

特定施設設置（既設）届出書（大気）

年 月 日

和歌山市長 殿

住所（所在地）
〔 電 話
郵便番号 〕

届出者

氏名（法人にあつては、名称及び代表者氏名）

和歌山県公害防止条例第24条第1項（第25条第1項）の規定により、特定施設について次のとおり届け出ます。

該当するものを ○ で 囲 む	(1) いおう酸化物及びばいじん (2) 有害物質 (3) 粉じん (4) 悪臭		
工場等の名称		常時使用する従業員	
工場等の所在地	(郵便番号 電話番号)	公害防止管理者	担当部課（室）名
業 種			担当者職名
特定施設の種類の種類	☆	※ 受理年月日	
特定施設の構造	☆	※ 整理番号	
特定施設の使用の方法	☆	※ 審査結果	
ばい煙等の処理（管理）の方法	☆	※ 備考	

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 ☆印の欄の記載については別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

3 付近見取図ならびに施設の配置図を添付すること。

4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とする。

ばい煙発生施設の種類			
工場または事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規 模	伝熱面積 (㎡)		
	燃料の燃焼能力 (重油換算L/h)		
	バーナーの燃料の焼却能力 (重油換算L/時)	(最大)	(最大)
		(通常)	(通常)
	原料の処理能力 (t / 時)	(最大)	(最大)
		(通常)	(通常)
	火格子面積 (㎡)		
	羽口面断面積 (㎡)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に付着する炭素の焼却能力 (kg/時)		
	焼却能力 (kg/ 時)	(最大)	(最大)
		(通常)	(通常)
	乾燥施設の能力 (kg/ 時)	(最大)	(最大)
		(通常)	(通常)
電流容量 (KA)			
ポンプの動力 (kW)			
参 考 事 項			

- 備考 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、施行規則別表第3に掲げる規模または能力について記入すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

別紙2 (ばい煙 その2)

ばい煙発生施設の使用方法

(県条例)

工場又は事業場における施設番号				
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動			
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類(主原材料)			
	使用割合			
	原料中の成分割合(%)	いおう分 かどみん分	鉛分 弗素分	
	1日の使用量			
燃料又は電力	種類	(比重)	(比重)	
	燃料中の成分割合(%)	灰分	いおう分	
	発熱量			
	通常の使用量(L/日)			
	混焼割合			
排出ガス量(Nm ³ /h)		最大 通常	最大 通常	
排出ガス温度(°C)				
排出ガス中の酸素濃度(%)				
ばい煙の濃度	ばいじん(g/Nm ³)			
	いおう酸化物(容量比ppm)			
	有害物質		最大 通常	最大 通常
			最大 通常	最大 通常
			最大 通常	最大 通常
			最大 通常	最大 通常
			最大 通常	最大 通常
			最大 通常	最大 通常
			最大 通常	最大 通常
			最大 通常	最大 通常
ばい煙量	いおう酸化物(Nm ³ /h)			
参考事項				

- 備考 1 原料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の濃度のうち、有害物質については排出口濃度とし、その単位を明記すること。

ばい煙の処理の方法

(県条例)

ばい煙にかかる処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				
設	置	年 月 日	年 月 日	
着	手 予 定	年 月 日	年 月 日	
使	用 開 始 予 定	年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排 出 ガ ス 量 (Nm ³ /h)	最 大		
		通 常		
	排 出 ガ ス 温 度	処 理 前		
		処 理 後		
	ば い じ ん (g/Nm ³)	処 理 前		
		処 理 後		
	ばいおう酸化物(容量比ppm)	処 理 前		
		処 理 後		
	ばい煙の 有害物質 濃度	(1)	処 理 前	
			処 理 後	
		(2)	処 理 前	
			処 理 後	
		(3)	処 理 前	
	処 理 後			
	(4)	処 理 前		
処 理 後				
(5)	処 理 前			
	処 理 後			
ばい煙量 (Nm ³ /h)	最 大	処 理 前		
		処 理 後		
	通 常	処 理 前		
		処 理 後		
捕 集 効 率 (%)	ば い じ ん			
	い お う 酸 化 物			
	有 害 物 質	(1)		
		(2)		
		(3)		
		(4)		
(5)				
使 用 状 況	1日の使用時間及び月使用日数		時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季 節 変 動		時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	
排 出 口 の 実 高 さ Ho (m)				
補 正 さ れ た 排 出 口 の 高 さ He (m)				
排 出 速 度 (m/s)				

備考 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

- ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 補正された排出口の高さHeは、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
- ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 有害物質については、作原工程図を添付し、図面中に各工程每または時間当りの有害物質の発生量を記載すること。

粉じん発生施設の種類			
工場または事業場における施設番号			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規 模			
使用 お よ び 管 理 の 方 法	粉じん発生施設が設置されている建築物の概要		
	集 じ ん 機	集じん機の種類・型式	
		集じん機の効率(%)	
		送風機の原動機出力(kW)	
	散 水 施 設	装置の種類・型式	
		装置能力(m ³ /時)	
		処理量当たりの散水量(1/時)	
	防じんカバーの設置状況		
	そ の 他	方法	

- 備考
- 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 規模の欄には、施行規則別表第3の3に掲げる規模または能力について記入すること。
 - 3 使用および管理の方法については、処理にかかる設備の概況を示す構造をとその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
 - 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する装置について記載すること。